宇土市

うと市議会だより

編集／ 議会だより編集委員会
発行／ 宇土市議会　令和6年８月1日発行
宇土市浦田町51番地
TEL 0964−22−1111　FAX 0964−22−6313
https://www.city.uto.lg.jp/

うと地蔵まつり

写真は、昨年のうと地蔵まつりの花火･パレードの様子です。うと地蔵まつりのもう一つのメインといえば「造り物」。今年はどんな“造りもん”が展示されるかにもご注目ください。

６月定例会にて議題となりました。（関連記事P 14）

主な内容

P 2〜P 3　令和6年6月定例会
P 3〜P13　一般質問
P14〜P15　委員会報告
P17　議案・陳情等の議決結果
P18　編集後記

一般質問の動画は
こちらをチェック！

2024・8・1　第86号

8

令和6年　6月定例会

6月定例会を6月17日から7月2日まで、16日間の会期で開催しました。

市長提出議案として、宇土市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例制定など条例関係4件、予算関係1件、人事案件3件、専決処分の報告及び承認5件、議員提出議案として現行保険証について当面の間の存続を求める意見書の1件が上程され、いずれも原案のとおり決定しました。

議案の主な内容は下記のとおりです。なお、各委員会での審査内容は、14～15ページに、議決結果は17ページに記載しています。

専決処分

◆令和5年度宇土市一般会計補正予算（第9号）

歳入歳出それぞれ1、486万2千円増額し、総額を239億756万9千円とする。主なものは、職員給、定額減税補足給付金支給事業の増額補正

◆宇土市税条例の一部改正

地方税法の改正に伴い、条例を改正するもの

【主な内容】

1　市民税関係

・職権による減免を可能とする規定の追加

・令和6年能登半島地震災害に係る雑損控除額等の特例の新設

・令和6年度分の個人住民税の特別税額控除（定額減税）に係る規定の新設

2　固定資産税関係

・職権による減免を可能とする規定の追加

・わがまち特例（課税標準の特例措置）の割合を定める規定の追加

・新築認定長期優良住宅特例に係る申告規定の見直し

・固定資産税の負担調整措置について、現行の仕組みを令和8年度まで延長

3　その他条文整理

・引用する法の改正に伴う条項ずれの改正

【施行日】

令和6年4月1日

◆宇土市重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部改正

熊本県重度心身障がい者医療費助成事業費補助金交付要領の改正に伴い、条例を改正するもの

【主な内容】

・受給資格者の自己負担額（同一月の診療分について、1医療機関等で負担する金額）の引下げ

入院の場合　2、040円 ← 2、000円

入院外の場合　1、020円 ← 1、000円

【施行日】

令和6年4月8日（令和6年4月1日以後の診療又は施術に係る医療費について適用）

条例

◆宇土市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例

地方自治法の規定に基づき、市長等の本市に対する損害賠償責任の一部免責に関し必要な事項を定めるため、条例を制定するもの

【主な内容】

・本市に対する損害賠償責任の一部免責について規定する。

免責額＝責任を負う額－（基準給与年額×乗数）

職員等の区分	乗数
市長	6
副市長、教育委員会の教育長若しくは委員、選挙管理委員会の委員又は監査委員	4
公平委員会の委員、農業委員会の委員又は固定資産評価審査委員会の委員	2
その他の職員	1

【施行日】

公布の日

予算

◆令和6年度宇土市一般会計補正予算（第1号）

歳入歳出それぞれ5億8、481万円増額し、総額を233億2、481万円とする。主なものは、定額減税補足給付金支給事業、新型コロナウイルスワクチン接種事業の増額補正

人事

◆宇土市固定資産評価審査委員会の委員の選任（任期3年）

青木　崇史　さん　（新任）

◆人権擁護委員の候補者の推薦（任期3年）

吉川　乃里子　さん　（再任）

坂本　ひふみ　さん　（新任）

◆令和６年度宇土市一般会計補正予算（第１号）

歳入歳出それぞれ5億8,481万円を増額し、総額を233億2,481万円とする。

費　目 （歳出概要）	補正額 （単位：千円）	歳出の主なもの （　）内は補正額【単位：千円】
総　務　費	20,496	予約型乗合タクシーデジタル化実証事業（10,304）
民　生　費	387,206	定額減税補足給付金支給事業（288,969） 物価高騰対応臨時給付金支給事業（61,020）
衛　生　費	90,391	新型コロナウイルスワクチン接種事業（77,876）
農林水産業費	53,563	水田農業対策事業経費（13,492）、観光農園開園支援事業（1,500）
商　工　費	9,301	干潟景勝地展望広場整備事業（5,551）
土　木　費	2,578	地元３割負担道路整備事業経費（1,600）
教　育　費	21,275	社会教育総務費　一般経費（16,100）

令和６年６月宇土市議会定例会　一般質問一覧表

【一般質問】

発言順	氏　名	質問事項（大項目）	掲載ページ
1	浦本　晴美	(1)　高齢者の雇用対策としてのシルバー人材センターの利活用について (2)　交通安全、安心優しいまちづくり 子どもの命を守るための交通安全対策について	4
2	佐美三　洋	(1)　犯罪のない安心・安全なまちづくりについて (2)　網田地区におけるライドシェアへの取組について	5
3	今中真之助	(1)　新型コロナウィルス感染症とワクチンについて (2)　中学社会の歴史教科書について (3)　運動公園周辺整備について	6
4	樫﨑　政治	(1)　高齢者支援対策 (2)　防災・減災対策について (3)　ラーケーションについて (4)　熱中症対策 (5)　スマートフォン通報システムについて	7
5	野口　修一	(1)　避難所の官民連携 (2)　外国籍市民の生活 (3)　学校生活のジェンダー対応 (4)　行財政改革 (5)　成年後見人制度	8
6	中口　俊宏	(1)　宇土地区の治水対策について (2)　宇土地区地域資源の活用について	9
7	福田　慧一	(1)　保育士の配置基準の見直しとこども誰でも通園制度について (2)　小・中学校体育館への空調設備設置について (3)　物価高騰対策について (4)　学校給食について	10
8	土黒　功司	(1)　地区防災計画について (2)　宇土市の特産品 PR について (3)　旧田中会館横に新設予定の子どもサードプレイスについて (4)　「九州のどまんなか宇土市」のキャッチフレーズを用いた宇土市の魅力発信について	11
9	杉本　寛	(1)　帯状疱疹について (2)　消防団について (3)　空き地・空き家対策について (4)　教育委員会跡地について	12
10	中野　洋一	(1)　子育て世代が安心して子育てができるアウトリーチ型子育てサービスの充実について (2)　子どもにやさしいまちづくり事業の推進について (3)　本市に設置されているＡＥＤについて (4)　飼主のいない猫の避妊不妊手術と地域猫活動について (5)　本市の交通課題解決と低炭素化達成のため、グリーンスローモビリティの導入について (6)　硝酸性窒素による水質汚染防止について	13

上記質問事項については、一部記事として掲載されない場合もあります。
※上記ＱＲコードから、定例会の録画映像を視聴できます。

一般質問

140㎝の適正身長までチャイルド(ジュニア)シートの装着を
※撮影時のみシートベルトを外しています

中央公園でボランティア　シルバー人材センターの皆さん

高齢者の雇用対策
生活も心も豊かな暮らし

（風）
浦本　晴美　議員

高齢者の雇用対策、シルバー人材センターの利活用

問　センターの活性化対策について市の考えは。

答　今後更なる高齢化が見込まれる中、高齢者の就業率を高めることは重要で、年齢にかかわらず働き続けることのできる社会を実現することは重要な課題である。活性化対策として、新規会員の獲得、新規事業の開拓、生きがい対策、この3点への支援が特に重要と考えている。

（健康福祉部長）

問　老朽化したセンター建物の今後の対応についてどのように考えるか。

答　現在の建物は、平成2年2月に建設、築34年が経過している。老朽化が進んでおり、抜本的な対応が必要な状態となっている。市では公共施設再編、見直しを進めており、シルバー人材センターも併せて検討している。移転先については、市の中心部に位置、交通の面で安全が確保できる場所、駐車場や倉庫等を含め必要な広さを確保できることなどが条件となるが、早急に対応を進めていく。

（健康福祉部長）

提言　元気な高齢者が地域を支える時代である。雇用の場を設け、生き生きと得意分野で輝きながら暮らせることが大事。新しい拠点と今後の支援に期待する。

安全・安心の優しいまちづくり　子どもの命を守るための交通安全対策

問　保育園・幼稚園・学校への交通安全指導について。また保護者に向けての指導はあるか。

答　例年1月頃に環境交通課から全ての保育所、幼稚園、小学校に対して交通安全教室開催のお願い通知を送付している。その実施内容は、講話、紙芝居、横断歩道の渡り方の実技指導である。保護者向けの交通安全指導は、一部の保育所や幼稚園で行われているが、市として子ども向けのみだった交通安全教室開催を、今後保護者向けの開催も呼びかけていく。

（市民環境部長）

要望　子どもの命を預かるのは大人である。ＬＩＮＥを利用し事故防止に向けた注意喚起を。

問　チャイルドシートの貸出しについて

答　貸出し期間については、本制度が里帰り出産や一時帰省の際に利用されることを想定しているため、3か月の貸出し期間となっている。ただし、在庫がある場合は、最長9か月まで期間を延長できる。近年の貸出し件数の増加等を受け、今年度当初予算でチャイルドシート購入のための予算を計上している。

（市民環境部長）

要望　警察庁とＪＡＦの２０２２年の合同調査で、年齢が上がるにつれチャイルドシートの使用率は減少、５歳では50％程度になるとの結果が出ている。必要な人に必要な期間貸し出せるよう前向きに検討を。

一般質問

犯罪抑止、犯人特定に貢献する防犯カメラの普及拡大を！

地元住民がドライバー！ タクシー空白を補う！！

網田地区の新たな公共交通（ライドシェア）への取組を市長に問う！ 防犯カメラ設置補助金の増額と新設 ～「安心・安全なまち」の構築へ

（無所属）
佐美三　洋　議員

網田地区における新たな公共交通（ライドシェア）への取組

問 網田地区からタクシー会社が撤退し久しい。経営的観点からこれからもタクシー会社が参入する事は難しくタクシー空白地であり続けることになる。3年前に導入された予約型乗合タクシーは利用者も増えつつあるが、運行日・便数・目的地が限定されており、通院や食料品・日常品等の買物に苦慮する交通弱者のニーズに応えきれていない。また列車を利用した観光客等が当地区を巡るには現状、徒歩以外に移動手段はない。このような中、網田をロケ地とした森山未來さん主演映画「大いなる不在」の熊本での封切りも間近で今後益々、網田地区への来訪者が増えると予想する。

この現状を打開するには近年、国が進める一般ドライバーが自家用車を使い乗客を有償で運ぶライドシェアへの取組が最も有効と考える。網田地区における高齢者を始めとする交通弱者や観光客等来訪者へのよりきめ細やかな公共交通サービスを提供するためには地方版ライドシェアの導入が是非とも必要である。市の支援があれば網田地区の住民力でＮＰＯを組織し運営を担うことも十分可能と考えるが、市長の見解は。

答 市としても住民の協力無くして持続可能な移動手段の確保は難しいと考える。議員提案のライドシェアの実現に向け諸条件をクリアできるか調査研究し取組を進めていく。（市長）

行政区の防犯カメラ設置補助金上限額の見直しと一般家庭向け補助制度の新設

問 本市における犯罪発生件数は5年前に比べ2倍に増えている。このような状況下、現代の犯罪で防犯カメラによる犯人特定事件は全体の約2割を占めるという。そんな中、本市における防犯カメラ設置補助制度は行政区のみを対象としたもので補助率4分の3、上限額10万円である。ただし、実際の設置費用の平均が21万円とのことであり、余りにも補助額が少ない。このままでは設置を希望する行政区も負担が大きいため設置をためらうのではないか。補助上限額を20万円に引き上げるべきと考えるが。また「安心安全なまち」を構築するため一般家庭への防犯カメラ設置補助制度も新たに設けるべきでは。

答 行政区を対象とした防犯カメラの実際の設置費用が平均20万円を超えており、補助上限額10万円では補助率4分の3に届いていない。従って今後、上限額の増額を検討する。また一般家庭向けの設置補助については他市町村の情報収集を行った上で判断したい。（市長）

一般質問

慰霊塔周辺には広い土地がある

市民プール。ウォータースライダーは現在はない

老朽化し利用者も少ない大赤字運営の市民プールは民間と連携し、スケートパーク等に転換を図るべき

（宇土市政研「志」）
今中　真之助　議員

新型コロナウイルスワクチン

問　秋冬に実施予定の定期接種の内容は。

答　対象者は、65歳以上の方、60～64歳で心臓、腎臓又は呼吸器の機能に障がいがあり身の回りの生活が極度に制限される方、ＨＩＶによる免疫の機能に障がいがあり日常生活がほとんど不可能な程度の障がいを有する方である。接種費用は1回当たり15、300円程度で、国が8、300円を助成し残りの7、000円のうち市負担は4、000円、自己負担は3、000円になる予定である。また、対象人数は6、200人を想定している。（健康福祉部長）

問　有効性やエビデンスはどうか。

答　現時点では情報がなく、情報が入り次第市民の判断材料となるよう周知する。（健康福祉部長）

問　これまでの本市のワクチン健康被害救済制度の申請状況は。

答　現在までの申請者は5人で、うち認定された方は2人、却下された方が2人、1人は現在厚生労働省において審議中である。（健康福祉部長）

問　本市でも5人の健康被害を訴える方がおられ、また全国では接種後2、193人が死亡し、37、000人以上が健康被害を訴えている。そのような薬害ワクチンを市が接種費補助する大義は何か。

答　積極的にワクチン接種を推奨するものではなく、感染や重症化を心配する市民が接種による効果や副反応のリスク等を充分に考慮した上で、接種を希望する場合の経済的な負担軽減のため実施するものである。（健康福祉部長）

要望　有効性もエビデンスも示されていないワクチンに対し、市は接種を延期する気概を見せてほしい。

運動公園周辺整備

問　老朽化している市民プールは学校や民間事業者と連携し、プールとしての活用をやめスケートパークへの転換ができないか。

答　学校との連携は現在考えていないが、民間事業者連携の協議は続けたい。また、スケートパークとしての利用も含め多様化するスポーツへの対応と併せて調査研究していく。（教育部長）

問　慰霊塔は日清戦争以降の戦没者の英霊を供養し、二度と戦争をしないことを誓い、先人に感謝するための施設であると認識しているが、後世に伝えるためにもっと市民に知らしめるべきだ。併せて維持管理を担う高齢化している遺族会の今後も心配である。周辺を親子などが遊べるような整備、例えば市民プール北側の公園遊具の移設などができないか。

答　公園の遊具は数も少なく利用する子ども達の年齢幅も考慮すると移設する考えはない。例えば、体育館利用者の食事場所や子どもの遊び場などにし、慰霊塔に関心を持たせる活用を考えていきたい。（市長）

一般質問

平成28年熊本地震での五色ふれあい館

クーリングシェルター（市役所１Ｆ）

花園地区西部に指定避難所を 早急にクーリングシェルターの拡充を

（無所属）
樫﨑　政治　議員

運転免許証の自主返納

問　運転免許証の自主返納後、1年以内に認知症の症状が発症する方や悪化する方が多く見られる。運転行為自体が身体機能や認知機能の維持に関与しており、運転をやめることでそれらの機能が低下したのではないかと考えているが、対策はあるか。

答　免許を返納され、自分で車を運転しなくなった方が外出の機会を失い、家に閉じこもったり、家族以外の人と会話をすることが減ったりすることは、介護予防の観点からも非常に懸念する状況である。そのため、市と社会福祉協議会が協力し、様々な方から知恵をいただきながら真剣に考えて動きたい。

（市長）

花園防災減災対策

問　花園地区の風水害時の指定避難所は４か所だけで、地区の東部に多く位置しており、65才以上の収容率が約20％と低い。地区の西部にある上松山コミュニティセンター（五色ふれあい館）を指定避難所にできないか。

答　指定避難所としての基準を満たす施設であるか確認を行うとともに、地元の行政区長等と協議していく。

（市長）

熱中症対策

問　電気代の高騰でエアコンの使用を控え熱中症になる方が増えるのでは。対策の一つとしてクーリングシェルターを増やしてはいかがか。

答　現在庁舎1階の市民交流スペースをクーリングシェルターとして指定している。加えて市保健センターや各支所などの公共施設についても、開放に向けて指定・周知の準備を行っている。今後は民間の施設も含めて指定できるよう、働きかけを行っていきたい。

（市民環境部長）

ラーケーション制度

問　愛知県で導入されている「ラーケーション」制度について、本市でも導入してはどうか。

答　ラーケーションとはラーニング（学習）とバケーション（休暇）を合わせた造語で、愛知県では平日に子どもと保護者が一緒に校外活動できるラーケーションの日を導入している。導入事例が少ないため、本制度の利用状況や課題等を検証し、県内他自治体の動向も注視しながら、当該制度の導入について調査、研究を進めていく。

（教育部長・教育長）

介護支援対策

問　要介護認定の更新において要介護度が要支援になり入浴介助の回数が週1回に減り困っている方がいるが、対策は。

答　認定結果への不服申立てや再調査などが可能である。また公平で客観性を持った認定を行い、必要な方が適切なサービスを受けられるよう、認定調査員の資質向上や市及び審査会事務局等、判定に携わるそれぞれの機関の機能向上に努める。

（健康福祉部長）

一般質問

中学校の新標準服・３タイプ

■宇土市における成年後見制度 類型別利用者数

（各年１２月３１日現在）

	成年後見	保　佐	補　助	合　計
令和元年	４９人	９人	５人	６３人
令和２年	５２人	９人	６人	６７人
令和３年	５１人	２０人	７人	７８人
令和４年	６０人	１３人	８人	８１人
令和５年	６３人	１５人	６人	８４人

※本統計数値は、熊本県内の成年後見、補佐、補助、任意後見事件を対象に熊本家裁で集計した概数である。自庁統計による概数であり、今後の集計整理により、異同訂正が生じることがある。

成年後見制度の利用状況

自分らしい制服、まったく一人になって必要な支援「成年後見制度」

（宇土市政研「志」）
野口　修一　議員

中学校の新標準服移行

問 新標準服導入において、ジェンダーの理解も含め、基本は男女問わずスラックスで、スカートを選択できるようにしては。

答 スラックスを基本とする考えもあるが、性の悩みを抱える生徒に限らず、機能性や保温性、好み等の様々な観点からスラックスとスカートを誰もが自由に選択してもらいたいと考えている。新標準服導入を機に、生徒一人一人がお互いを尊重しつつ、主体的に自己を表現し、自分らしく成長できる教育環境づくりを進める。（教育部長）

意見 子どもたちは、周囲からの視線を気にし、着たい服装でない実態がある。スラックスをはくこと＝「性的指向・性自認のカミングアウトにつながる」との声もある。ルールひとつで、無理なカミングアウトや目立ち方をせず、違いや個性を発揮できる。

成年後見制度の現状

問 認知症高齢者が全国で５００万人に近づいている。新聞の記事等から「まったく一人になっても生きられる社会とはどんなものか」を考える。認知症高齢者だけでなく、知的障がい者や身寄りの無い方の老後の安心、人としての尊厳を最後まで保つのが成年後見制度。そこで、５年前と比べ昨年の利用状況はどうか。

答 令和元年の63人に対して、令和５年は84人と、年々増加している。令和５年の利用者84人の内訳は、成年後見63人、保佐15人、補助６人である。（健康福祉部長）

社会福祉協議会と後見人活動

問 品川区社会福祉協議会は、組織内に「成年後見センター」を新たに設置。地方は人材不足で、特に専門的知識を持つ人材が足りない状況から、品川区方式を参考に「社会福祉協議会」が成年後見の役割の一端を担えないか。

答 成年後見制度の一つに、個人ではなく社会福祉法人などの法人が後見人となる「法人後見」がある。市社会福祉協議会は、市から「成年後見支援センター業務」を受託し、成年後見制度の相談業務や手続支援、後見人支援等全般の業務を担っている。また、県社会福祉協議会から判断能力に課題のある人の支援を行う「地域福祉権利擁護事業」も受託しており、加えて法人後見を受任することは可能ではないかと考える。実施に向けてはニーズを把握し、市社会福祉協議会と協議を重ね、必要性について判断していく。（健康福祉部長）

意見 社会福祉協議会の「法人後見」の可能性を聞けて、希望が出てきた。日常生活に不安のある人たちを支えることができ、認知症や１人暮らしの老後の生活の安寧につながると思う。

船場橋植樹帯

整備を要望している植樹帯の杭木

宇土地区の地域資源の活用について

（無所属）
中口　俊宏　議員

質問趣旨　宇土地区には、高月邸、船場橋界隈等の歴史的な地域資源があり、宇土地区の活性化対策には、これらの地域資源を有効に活用することが重要である。このことについて質問する。

船場橋植樹帯の整備について

問　植樹帯には紫陽花や菖蒲が植えてあり、時期的には綺麗な花を咲かせる。しかし、植樹帯を支える土留めの一部には杭木の腐食があり、土が川へ流出し、景観を損ねている。今後の景観対策について質問する。

答　現在、土留め用の杭木列の経年劣化が進行しており、植樹帯に充填した土砂が川へ流入している場所もある。令和５年度に建設コンサルタントに業務委託し、対策案や改修に伴う河道への影響等を比較検討する調査を実施した。今回の調査結果を踏まえ、河川管理者の市土木課と協議を進め改修計画の方針を決定する。

（教育長）

笹垣の景観保全対策について

問　現在、石小路、門内、定府区等で笹の生け垣をみることができる。常緑で趣があり、武家屋敷、江戸時代の名残を感じる。これは個人の方々の所有であるが、宇土市にとって貴重な歴史的資源であり、また財産でもある。市として、この笹垣の維持管理に支援等の方針があるか否か質問する。

答　美しい笹垣景観は、江戸時代以来の宇土藩武家屋敷の面影を今に伝える貴重なものであり、後世に末永く継承していくことが望ましいと考えている。市としては、今後も所有者の方には、維持管理をお願いするとともに笹垣文化を絶やさないため、市で笹の育成や増殖を進め、笹垣の植栽を希望される方には、無償で笹を譲渡する株分けを行う準備を進めている。

（教育長）

宇土地区の治水対策（大坪川の改修整備）について

問　治水対策は市民の生命と財産を守るための事業であり、また人口増加や企業誘致等地域の発展に寄与する重要な事業である。大坪川（馬之瀬堰付近）の整備状況について質問する。

答　準用河川大坪川は市街地の治水対策を目的に、昭和50年度から船場川への合流点を起点に松原町の大坪水門までの延長1、１９０メートルを整備区間として河川改修に取り組んでいる。馬之瀬堰付近の工事は、流れをスムーズにするため新たにバイパスを整備するもので、新規に橋梁を架ける必要があり、昨年度から着手し、まず仮設道路を整備した。今年度は橋梁下部工及び護岸の一部を整備する。来年度は、橋梁の上部工の整備を行い、その後、仮設の道路と暗渠排水管を撤去し、その部分の護岸を整備する予定である。

（建設部長）

一般質問

網田小体育館

住吉中体育館

熱中症対策のため2025年度に空調設備（冷暖房）の設置を予定している体育館

（日本共産党）
福田　慧一　議員

小・中学校体育館への空調設備の設置について

問　気象庁は２０２３年の平均気温が最も高い歴史的な年になったとし、今後も暑い年が続くとしている。体育館使用時の熱中症対策及び災害時の避難所となる小・中学校体育館への空調設備の設置が必要と思う。国も設置を進めるような通知を出している。空調設備の設置について教育委員会の考えを聞きたい。

答　小・中学校体育館における空調設備の設置については、網田小及び住吉中の体育館が、風水害時の高齢者等避難として、他の避難所に先んじて開設し、その開設回数が多いことから、避難された方々の熱中症対策として、令和7年度に空調設備を設置する予定としている。

　その他の小中学校体育館への設置については、体育館が有する教育施設と災害時の避難所としての役割を踏まえ、より有利な財源となる地方債や補助制度等を活用し、関係部署と連携しながら、設置に向け検討していく。

（教育長）

保育士の配置基準の見直しについて

問　保育士の配置基準の見直しが決まり、本年４月１日より実施されている。市内の保育園の実施状況はどうなっているか聞きたい。

答　今回の改正で保育士の配置基準は、満３歳児については、保育士１人に対して子ども20人から15人に、満４・５歳児については、保育士１人に対して子ども30人から25人となった。経過措置として、当分の間、条件付きで改正前の配置基準によって運営できることになっているが、４月末現在、本市内すべての認可保育所で、改正後の基準以上の職員が配置されている状況である。

（健康福祉部長）

学校給食に地元農産物の使用を

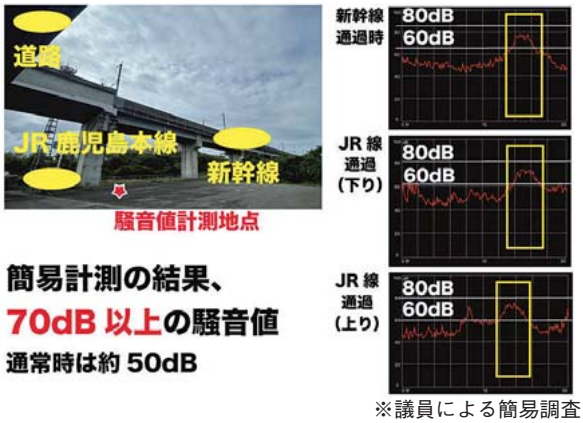
問　小・中学校の給食に安心・安全な食材を使用し、提供する取組が全国的に広がっている。本市における地元農産物の使用状況を尋ねる。また、米飯給食については、農薬や化学肥料を使用しない有機栽培米を取り入れる必要があると思うが、今後の教育委員会の計画はどうなっているか聞きたい。

答　学校給食での地元農産物の利用割合について、米は宇土市産１００％で、年間約３４、０００キロを利用しており、野菜等は重量ベースで約７．４％を利用している。有機栽培米の使用に当たっては、数量や価格等の課題があり、農林水産課と連携しながら給食食材としての取り入れについて検討していく。

（教育部長）

一般質問

九州のどまんなか宇土市



※議員による簡易調査

子どもサードプレイス建設予定地の簡易騒音値計測結果

市民にとって、子どもたちにとって 宇土市が心のどまんなかとなる施策を

土黒　功司　議員（風）

地区防災計画

問　地区防災計画の策定及び活動を推進していくための予算措置についての見解は。

答　各地区の防災協議会等が実施する地区防災計画に基づく防災訓練など、地区防災計画の推進に係る経費の予算化については、他市の補助制度等の内容を十分に精査し、今後早急に検討する。（総務部長）

要望　即急な予算化を。

宇土市特産品ＰＲ

問　市民交流スペースを活用した特産品のＰＲはできないか。

答　展示スペースの利用ルールとの調整を図り、特産品パネルなどの展示を検討する。（経済部長）

子どもサードプレイス

問　新設予定の子どもサードプレイスの実現に向けて、計画段階から福祉的視点の考慮が重要だと思われるが、今後の取組は。

答　安心・安全に過ごせるよう基本設計の段階から福祉的視点を反映させることは必要不可欠だと考えている。基本設計の段階から、より福祉目線、子ども目線の業務情報を取り入れながら、子どもたちにとって居心地がよく、楽しく、優しい施設となるよう協議を進めていく。（教育部長）

要望　騒音対策等十分な対策を行い利用者にとって安心安全で居心地の良い環境づくりを

「九州のどまんなか宇土市」キャッチフレーズ

問　キャッチフレーズに込められた想いと目指す本市の将来像、及び市民に対して普及・浸透させていくための今後の戦略は。

答　「九州のどまんなか」というインパクトのあるキャッチフレーズとロゴを用いて情報発信を行い、関東や関西そして台湾をはじめとした海外からの関心を高めることを目指している。これにより、都市圏からの観光客や移住者、さらには台湾など海外からの訪問者も増やし、九州訪問時に宇土市を選んでもらえればうまくいったと言えると思う。九州の中央に位置するという事実を県外、全国、海外の人々に広く知ってもらい、まずは関心を持ってもらい、その後、子育てや定住、移住の選択肢として宇土市を捉えてもらいたいと考えている。また、このフレーズには市民の視点にたち、市民にとって最善の利益を第一に考える、市の政策の真ん中に市民を置く、引き続き市民の意見を政策に反映し、宇土市全体で市民生活を後押ししたいという意味も含まれている。さらに宇土市に住む人々が住み続けたいと思ってもらえるような、誇りを持てるまちづくりを目指し、若手市職員の意見も取り入れながら進めていく。（市長）

要望　未来を担っていく子どもたちにとって心の中に宇土市がどまんなかとなるような施策を。

一般質問

空き地（イメージ）

湯徳章ゆかりの坂井家墓地（父方親族）

中心市街地の活性化のため教育委員会跡地を歴史資料館として利活用を

（無所属）
杉本　寛　議員

帯状疱疹

問 50歳以上になると発症率が高くなり、80歳までに3人に1人が帯状疱疹を患うと聞くが、本市ではワクチンの補助などはないか。

答 接種費用の助成については、過去2度の定例会において国の動向をみて検討したいと答弁している。しかし、6月20日開催の厚生労働省厚生科学審議会の小委員会において、帯状疱疹ワクチンを定期接種として差し支えないとの意見がまとまったとの報道があった。それを受け、本市においても正式に定期接種となった場合に迅速に対応できるよう、準備を進める。（健康福祉部長）

要望 市民の健康を優先してほしい。

消防団

問 今年度の新入団員の数と団員の総数は。

答 新入団員数は30人、消防団の条例定数555人に対し総数は551人である。（総務部長）

問 本市の自主防災組織の状況は。

答 自主防災組織は、地域住民が「自分たちの地域は、自分たちで守る」という意識に基づき各地区で自主的に設立される組織である。令和6年5月時点では、157行政区中138行政区で設立されており、その設立率は87．9％である。（総務部長）

問 機能別団員の要件及び具体的な活動内容等は。

答 資格要件は、消防団員又は消防吏員として10年以上の経験を有し、概ね65歳までの方である。定員は市消防団員の定員の10分の1以内と定めている。また、活動については、これまで培った対応力を活かし、火災や災害時に被害の軽減や迅速な復旧に努めていただいている。（総務部長）

空き家・空き地対策

問 相続登記が本年4月1日から義務化されたが、本市の空き家バンク制度の利活用と合わせて周知できないか。

答 相続登記の申請義務化の周知について、空き家バンク制度の積極的な運用と併せて取り組む。（企画財政部長）

教育委員会跡地

問 教育委員会の跡地利用に関して現在の進捗状況は。台南市との今後連携強化を図る意味でも資料館として利活用しては。

答 現在、旧田中会館へ図書館やサードプレイスを有する施設等を設置する方向で市民等から意見をいただいている。現在の図書館は旧田中会館に機能移転後、歴史資料館的施設の設置を検討している。その施設内に湯徳章氏を紹介するコーナーを設置できればと考えている。旧教育委員会庁舎の再利用については、公共施設再編の中でシルバー人材センター等の移転や公民館等としての活用も検討している。（市長）

提言 台南市からのインバウンドによる本町商店街の活性化の為にも教育委員会庁舎跡地を歴史資料館として利活用してほしい。

一般質問

九州のどまんなか宇土市ロゴ
九州のどまんなかから始めよう！

出典：(一社)産後ドゥーラ協会
産後ドゥーラとは産前産後の母親に寄り添い、支える人

「九州のどまんなか宇土市」から こどもまんなかのやさしいまちづくりを！

（公明党）
中野　洋一　議員

アウトリーチ型子育てサービスの充実

問　産後ママへのサポート充実のため、産後ドゥーラを派遣事業者に追加してはどうか。

答　産後ドゥーラは、妊娠中から出産後1年半までの母親と家族のサポートを目的にした（一社）産後ドゥーラ協会が認定する独自の資格である。県内の有資格者が少ないため、資格取得者の状況や他自治体の実績、国のガイドラインを注視し、まずは現行の子育て支援事業の拡充に取り組む。（健康福祉部長）

子どもにやさしいまちづくり事業の推進

問　ユニセフが提唱する「子どもにやさしいまちづくり事業」の推進について見解は。

答　子どもの権利条約の内容を具現化するための市の取組については不十分な部分もあると感じている。こどもまんなか社会の実現に向けて、子どもたちの視点に立ち、子どもたちの権利が保障されるよう、社会の様々な活動に子どもたちが参加できる仕組みを推進することが重要であり、その推進が今後の持続可能なまちづくりにつながると考える。（企画財政部長）

本市に設置されているＡＥＤ

問　本市に設置されているＡＥＤのボックスや収納ケース中に、女性のプライバシーに配慮して、三角巾を配備してはどうか。

答　公共施設に設置されているＡＥＤに対し、三角巾の配備を進める。民間施設については広報紙などを活用し、三角巾の配備をお願いする。（総務部長）

地域猫活動

問　保護猫活動により飼い主のいない猫によるトラブルは減少すると思うが、市民へ地域猫活動の周知や啓発を行ってはどうか。

答　飼い主のいない猫のトラブルを減少させるため、地域住民に地域猫活動の周知・啓発を行うとともに、宇城保健所と連携を図り、飼い主のいない猫の減少に努める。（市民環境部長）

交通課題解決と低炭素化達成のためのグリーンスローモビリティの導入

問　交通空白地や高齢者の交通確保と地域交通の低炭素化の解決のため、グリーンスローモビリティを導入してはどうか。

答　グリーンスローモビリティとは、高齢者や観光地での移動手段として、時速20㎞未満で公道を走ることができる電動車を活用した単距離移動サービスである。課題や検討する部分も多く、利用者のニーズを把握した上で導入を見極める必要がある。有効な可能性を持つ移動サービスの一つであるという認識の下、地域の状況や路線の状況を踏まえつつ、利用者の利便性向上につながるよう、調査・研究を行う。（企画財政部長）

委員会報告

総務市民

総務部・企画財政部・市民環境部
行政委員会などを所管

小崎憲一委員長

《議案関連》

令和6年度宇土市一般会計補正予算（第1号）

問　浄化槽設置整備事業補助金について、西部地区に新築住宅が予想以上に建っているようだが、今年度から始めた西部地区への新設や拡充の補助金制度の効果が表れているのか。

答　今年度から移住定住政策の一環として住吉中学校区と網田中学校区を対象として、新たな補助金制度を創設した。この制度の効果かどうかの分析はできていないが、合併浄化槽設置整備事業においては、5月末時点で、既に昨年1年間の新築住宅の補助交付実績件数に達している。本事業は西部地区に新築住宅を建てる場合、昨年度までの補助制度に加え、新たに50万円を限度として加算するものである。

問　西部地区の新築住宅の場合、昨年度と比べてどのくらいの金額の違いがあるのか。

答　例えば、大体100万円の費用がかかる5人槽の補助限度額でいえば、昨年度までは約30万円の補助で自己負担額が約70万円かかっていたものが、今年度は50万円が加算されるので、自己負担額が約20万円で済むようになっている。

問　予約型乗合タクシーデジタル化実証事業について、電話に限られている現在の予約方法に加え、LINE予約も可能になるとのことだが、ドライバーの配車システムなどまで考えられているのか。

答　現段階では予約を受けるまでをシステムで行い、配車については人的なものとなる。段階的に進めていければと考えている。

問　利用者は高齢者が多いので、LINEを使っていない方はどうなるのか。

答　従来の電話予約も可能であるが、LINEを使ったことがない方に対しては、予約の操作方法を丁寧に説明していく。

問　地方就職学生支援事業補助金について、どのような補助内容となっているのか。

答　本部が都内にある大学の東京圏にあるキャンパスに4年以上在学する卒業年度の学部生が、熊本県内の企業に就職して宇土市に移住する場合に、就職活動に要した交通費の2分の1、上限3万円を補助するものである。

経済建設

経済部・建設部・農業委員会を所管

今中真之助委員長

《議案関連》

令和6年度宇土市一般会計補正予算（第1号）

問　ふるさと納税システム利用料について、令和7年3月から利用予定のふるさと納税サイト「Amazonふるさと」の申込みに275万円が必要ということだが、他のサイトでもこのような初期費用がかかったのか。

答　他のサイトではかかっていない。これは「Amazonふるさと」が行う割引プランに申し込むことで、通常10パーセントかかる仲介手数料が2年間、3.8パーセントに割り引かれるものである。

問　観光農園開園支援事業補助金について、この事業は、生産者が消費者と果樹などの年間契約を結び、生育過程や収穫体験を楽しんでもらう、いわゆる「オーナー制度」についても対象となるか。

答　観光農園としての事業であれば対象となるが、要件として、駐車場とトイレの設置が必要である。

（委員から意見）　今回の事業では農業分野が支援対象であるが、イカ漁体験など観光漁業への支援についても検討してほしい。

《議案以外》

観光地への案内について

（委員から意見）　住吉自然公園に県外から来ていた観光客と話をした際、「アジサイの絵などを使ったわかりやすい案内看板や、目的地までの距離を示す案内がなく、場所がわからなかった。車を運転していてもわかりやすい案内表示をしてほしい。」との意見があった。他の市内観光地についても言えることだが、他市からの観光客を迎え入れるという視点をもってほしい。

うと地蔵まつりにおけるトイレについて

問　昨年は仮設トイレの設置数が少なく、路上で用を足したり、一部の商店に押し寄せるなど、来場者のマナーの悪さについて地域住民から対応を求める声があがっている。今年は、仮設トイレと併せて、市民会館など公共施設のトイレについても周知することはできないか。

答　公共施設のトイレについては、昨年もチラシなどでお知らせしていたが、わかりづらい面があったため、よりわかりやすくなるように工夫する。併せて、仮設トイレの増設を予定している。

（委員から意見）　来場者の多くは市外から来ているという点を考慮して対応してほしい。

上水道の水質検査について

問　昨年、熊本市の井戸水から発がん性の恐れが指摘される有機フッ素化合物が国の目標値を超えて検出されたが、宇土市における検査状況はいかがか。

答　昨年、市として3か所、国土交通省が地域高規格道路に関連して網田方面で3か所の計6か所で検査を行ったが、国が示す目標値未満の数値であった。

飯塚川の氾濫防止について

問　河川の水位を監視するためのライブカメラは何台設置しているか。

答　飯塚川沿いには3台設置している。

（委員から意見）　飯塚川沿いに土嚢が設置されているが、古くなっているため、大雨に備えて確認してほしい。

委員会報告

文教厚生

健康福祉部・教育委員会を所管

樫﨑政治委員長

《議案関連》

令和6年度宇土市一般会計補正予算（第1号）

問　宇土幼稚園2階の空きスペースを活用した小規模保育事業所整備について、既存の保育園だけでは入所できなくなっているのか。保育士の不足もあるのではないか。

答　既存の保育所では入所が難しくなっている。保育士の不足も一因としてあるため、市として保育士の処遇を高めるような抜本的な取組について、他市の状況を見ながら検討しているところである。

（委員から意見）保護者も生活のため、仕事に復帰している現実がある。家で子どもを見たくても家計のためやむなく保育園に預けている家庭が、家で育児できるような支援を考えることも、より良い子育てのために必要ではないか。

問　一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業補助金について、補助金額はどうなっているか。

答　対象経費の5分の3以内に相当する額で、上限1、500万円である。

問　市の補助である宇土市自治公民館等整備事業補助金はどうなっているか。

答　市からの補助金額は上限50万円である。

問　コミュニティ助成事業補助金の選定状況は。

答　各地区の自治会から市へ申請されたものを、県を通じて自治総合センターで最終的に審査される。申請した初年度で申請が通るということはなかなか厳しく、2年目、3年目と続けて申請する中で採択されることが多い。

問　花園小学校仮設校舎建設について、建設のために花園小の校門を移設するということだが、その内容は。

答　仮設校舎の建設予定地は、グラウンド北西側の校門そばであるため、移設が必要となった。移設先としてはグラウンドの南西側に移設する予定である。

問　仮設校舎は何クラス分か。

答　4クラス分である。令和7年度に1クラス増え、その後も令和9年度、10年度と増える見込みがあること、特別支援学級の教室も不足していることから、このような計画となっている。

《議案以外》

民営化予定の養護老人ホーム芝光苑について

問　譲渡先候補者は、完全に撤退したのか。

答　相手方から正式な辞退届があったため、今回の応募については完全に撤退されている。

問　経営が困難ということで積算の資料を見たが、職員数を見直すなど、やり方によっては十分経営できるのではないか。

答　養護老人ホームは、本来介護を必要としない方が入所される高齢者福祉施設であるが、実際は入所者の約3分の2の方が要支援以上の認定を受けている。その点で支援員等の職員を削減することはできず、さらに今般の物価高騰で、譲渡の条件である建物の建て替えができなくなった。市としても国の算定基準に沿った措置費の見直し等を行ったが、それでも採算が取れないという結論に至り、辞退となった。

（委員から意見）白紙になったことは真摯に受け止め、児童向け施設と高齢者施設が一体となった、幼老複合施設への整備のような新たな視点を持つことも一つの活用法ではないか。

地域高規格道路促進等対策特別委員会

西田和徳委員長

《執行部からの説明》

熊本宇土道路

・令和6年度当初予算2億円（前年度と同額）
・用地進捗率約699％（前回同様）
・事業進捗率約36％（前回同様）
・令和6年度実施事業
【令和5年度事業（繰越事業）】
調査設計：令和5年度熊本宇土道路河川影響検討業務
【令和6年度事業】
調査設計：令和6・7年度熊本天草幹線道路工事監督支援業務
令和6年度宇土道路外水文調査業務

宇土道路

・令和6年度当初予算39億円（前年度と同額）
・用地進捗率約98％（前回同様）
・事業進捗率約45％（前年度比11ポイント増）
・令和6年度実施事業
【令和4年度事業（繰越事業）】
工事：熊本57号糖塚山トンネル新設工事
【令和5年度事業（繰越事業）】
工事：熊本57号長浜地区改良2期工事（工期延長）
熊本57号城塚地区改良19期工事
熊本57号網津地区改良2期工事
熊本575号城塚地区改良20期工事
ほか4件（契約締結）
用地補償：令和5年度国道57号宇土三角道路外土地評価業務
【令和6年度事業】
調査設計：令和6・7年度熊本天草幹線道路工事監督支援業務（契約締結）
令和6年度宇土道路外水門調査業務（契約締結）

宇土三角道路

・令和6年度当初予算1億円（前年度当初予算と同額）
・用地進捗率約1％（前年度比1ポイント増）
・事業進捗率約1％（前回同様）
・令和6年度実施事業
【令和5年度事業（繰越事業）】
用地補償：令和5年度国道57号宇土三角道路外土地評価業務
【令和6年度事業】
調査設計：令和6・7年度熊本天草幹線道路工事監督支援業務（契約締結）

《主な質疑》

問　地域高規格道路の進捗状況について、市のホームページに掲載することとなったが、国土交通省のホームページを案内するだけでは、タイムリーな更新がされないため、情報が埋もれてしまうのではないか。

答　進捗状況について市独自の更新は困難だが、市に関係するイベントなどの動きを適宜掲載することで市のホームページを更新するようにしていきたい。

問　宇土三角道路のルートの計画はどうなっているか。

答　具体的にはまだ未定だが、ルート決定のやり方や決定の時期について国土交通省に確認する。

問　宇土三角道路において、網田にインターチェンジが整備されるが、地域活性化の視点で先を見据え、自治体独自でスマートインターチェンジのような形で新たに設置できないか。予算が問題となるが、有利な財源があると思う。

答　自治体独自でということになると、予算の確保が当然必要となるし、おおまかに示されているルート上に、インターチェンジの整備が可能かどうかという問題もある。有利な財源などを含め、調査したい。

問　委員会では高規格道路のことを話し合うが、道路だけではなく、沿線のまちづくりのことも考えていく場である。高規格道路供用開始が迫ってから動いても間に合わないため、土地利用の計画が必要ではないか。

答　計画策定に当たっては、市役所の様々な部署が関わってくる。庁内で協議・検討していきたい。

視察研修報告　議会だより編集委員会

埼玉県比企郡小川町（令和６年１月19日）

・議会だよりの編集・発行について

小川町議会だよりは、平成７年第１回定例会にて議会運営委員会に特別事件「議会報」を付託したのを発端に研究を進め、平成８年11月に創刊号を発行しています。現在の形に大幅リニューアルしたのは平成28年５月の79号で、平成28年度町村議会広報全国コンクールで奨励賞を受賞しました。大幅リニューアルの際、もともとあった編集方針に加え、「６つの約束」①読みやすい文字、②やさしい表現、③見やすい誌面、④親しみあるデザイン、⑤皆さんの声を大事に、⑥色への配慮の６つを掲げて編集に臨まれています。

発行に当たっては、議会広報発行特別委員会の委員６人が主導し、毎号議員自ら取材や、写真撮影などを行われています。

住民目線で作成されている小川町議会の議会だよりは、わかりやすく読みやすい記事を目指しているうと市議会だよりの編集に当たって、大変参考となる視察研修となりました。

〔視察研修参加者〕
宮原雄一 委員長／今中真之助 副委員長／樫﨑政治 委員／小崎憲一 委員

学校給食試食会報告　文教厚生常任委員会

令和６年６月25日、文教厚生常任委員会委員が宇土市学校給食センターで学校給食試食会を行いました。

これは食育月間の６月にあわせ、委員会で議題となることの多い学校給食の実際を知ることを目的に実施したものです。この日の献立は「食パン、牛乳、ミネストローネ、かぼちゃひき肉フライ、大豆とひじきのサラダ、りんごジャム」。ボリュームたっぷりで栄養バランスのとれたやさしい味でした。

学校給食センターでは、今年度から食育わくわくデーとして毎月違ったテーマを設定し、それに合わせた献立を実施しています。

食育は、生きる上での基本であり、知育・徳育・体育の基盤となるものです。文教厚生常任委員会としても、給食を通じて、食べ物の働きや地場産物、旬、食文化などを感じることができる良い体験となりました。

毎日の学校給食が画像で紹介されています。
※右の QR コードをご覧ください。

［給食試食会参加者］樫﨑政治 委員長／浦本晴美 副委員長／山村保夫 委員／藤井慶峰 委員／中野洋一 委員

宇土地区議員　市長へ要望書を提出

６月定例会閉会日の７月２日に、宇土地区居住の議員４人が、市長へ要望書を提出しました。この要望書は、宇土地区内での自宅から停留所まで離れた公共交通不便地（公共交通空白地）に居住する、徒歩による移動が困難な市民に対する移動手段の確保に関する取組を求めるものです。

〔要望書提出者〕　福田慧一議員／中口俊宏議員／
中野洋一議員／杉本寛議員

令和６年６月宇土市議会定例会議決結果一覧

賛否のわかれた議案等

提出者	件名		議決結果	表決数 賛成－反対	六政会		宇土市政研「志」			風														
	会派名 / 議員名				宮原雄一	山村保夫	今中真之助	西田和徳	野口修一	土黒功司	浦本晴美	杉本寛	中野洋一	佐美三洋	小崎憲一	園田茂	柴田正樹	樫崎政治	中口俊宏	藤井慶峰	村田宣雄	福田慧一
市長	第42号	専決処分の報告及び承認を求めることについて 専決第３号　宇土市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	承認	16-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	●
市長	第49号	令和６年度宇土市一般会計補正予算(第１号)について	可決	15-2	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○
議員	発議第3号	現行健康保険証について当面の間の存続を求める意見書	可決	12-4	●	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	退	●	○	－	○	○
＼	陳情第2号	現行健康保険証について当面の間の存続を求める陳情書	採択	12-4	●	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	退	●	○	－	○	○

※○＝賛成又は採択、●＝反対又は不採択、欠＝欠席、退＝退席、除＝除斥
※議長職の藤井慶峰議員は、可否同数の場合のみ裁決するため、「－」と表示しています。

全員賛成の議案

提出者	番　号	件　　名	議決の結果
市長	第39号	宇土市固定資産評価審査委員会の委員の選任について	同　意
市長	諮問第1号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	答　申
市長	諮問第2号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	〃
市長	第40号	専決処分の報告及び承認を求めることについて 専決第１号　令和５年度宇土市一般会計補正予算(第９号)について	承　認
市長	第41号	専決処分の報告及び承認を求めることについて 専決第２号　宇土市税条例の一部を改正する条例について	〃
市長	第43号	専決処分の報告及び承認を求めることについて 専決第４号　宇土市重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部を改正する条例について	〃
市長	第44号	専決処分の報告及び承認を求めることについて 専決第６号　令和６年度宇土市国民健康保険特別会計補正予算(第１号)について	〃
市長	第45号	宇土市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例について	可　決
市長	第46号	宇土市税条例の一部を改正する条例について	〃
市長	第47号	宇土市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	〃
市長	第48号	宇土市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	〃

報告

報告番号	件　　名
第２号	令和５年度宇土市一般会計継続費繰越計算書の報告について
第３号	令和５年度宇土市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について
第４号	令和５年度宇土市水道事業会計予算繰越計算書の報告について
第５号	令和５年度宇土市公共下水道事業会計予算繰越計算書の報告について
第６号	宇土市土地開発公社の経営状況の報告について
第７号	専決処分の報告について 専決第５号　損害賠償額の決定について
第８号	専決処分の報告について 専決第７号　損害賠償額の決定について
第９号	専決処分の報告について 専決第８号　損害賠償額の決定について

全国市議会議長会表彰

令和６年６月定例会の開会日冒頭に、本会議場において、表彰状及び感謝状の伝達が行われました。

内容は、去る５月 22 日に開催された全国市議会議長会第 100 回定期総会において、村田宣雄議員に市議会議員として在職 25 年の表彰状、藤井慶峰議長に産業経済委員会委員（令和５年度）として在任の感謝状を授与されたものです。

村田議員

藤井議長

＊議会改革検討会協議結果への市民意見募集＊

現在、第 10 回を数える議会改革検討会の協議結果に対する市民の皆さんのご意見を募集します。ご協力をよろしくお願いします。（回答〆切：８月 15 日（木））

＜回答ができる方＞
・市内に在住している方
・市内に事務所等を所有している方
・市内の事務所等に勤務している方
・市内の学校に在籍している方
・本案件に利害関係を有する方
※年齢は問いません。
※ＦＡＸ、郵送、メール、庁舎４階議会事務局への持参での提出もできます。

住　所：869-0492 宇土市浦田町 51 番地
ＦＡＸ：0964-22-6313
メール：gikai02@city.uto.lg.jp

編集後記

たびたびこの紙面にて紹介させていただいていますが、宇土市議会では大きく４つの議題（なり手不足解消・政務活動費・議会機能強化・開かれた議会づくり）を話し合う議会改革検討会を開催しています。現在 10 回を数え、７月 11 日の第 10 回検討会では、市民の皆様に意見を求めるため、今まで会議の中で出た意見をまとめ、内容を決定するものとなりました。今回の議会だよりにその市民意見募集の案内（本ページ）を掲載しておりますので、ぜひ皆様にご意見をいただければと思います。（M.K）

編集委員
委員長／宮原雄一　副委員長／今中真之助
委　員／樫﨑政治　委　員／小崎憲一

令和６年９月　定例会会期日程

９月定例会の日程は、市議会ホームページを御覧になるか、議会事務局までお問い合わせください。

広報うと９月号にも掲載します。

議会を傍聴しませんか

市議会では市民の皆さんの生活に密着した問題が審議されています。身近な市政を知るために、是非一度傍聴してみませんか。

◇本会議の傍聴席の定員は50人です。
◇委員会の傍聴席の定員は５人です。内容等により傍聴を制限する場合がありますので御了承ください。
◇原則として、本会議、委員会は午前10時開会ですが、議事の都合で変更する場合があります。
◇傍聴の際は、注意事項をお守りください。

市議会からのお知らせ

市議会のホームページで、本会議（定例会・臨時会）の会議録を公開しています。

［アドレス］
https://www.city.uto.lg.jp/

本会議の会議録（冊子）は、市情報公開コーナー、市立図書館で閲覧できます。

なお、令和６年６月定例会の会議録は、令和６年９月定例会以降に閲覧可能です。

［お問合せ］市議会事務局 0964-22-1111 内線234

印刷 / 株式会社協和印刷